

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年8月3日(2017.8.3)

【公開番号】特開2016-9414(P2016-9414A)

【公開日】平成28年1月18日(2016.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-004

【出願番号】特願2014-130887(P2014-130887)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/041 5 8 0

G 06 F 3/041 5 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

表示パネルと、表示面に接触する被検出体を検出するタッチパネルと、前記表示面に近接する前記被検出体を検出する近接センサと、を有する表示装置の駆動方法であって、接触信号が発生した時を起点として、前記被検出体の位置を前記タッチパネルによって検出し、次に前記被検出体の近接信号の強度を前記近接センサにより検出し、次に前記近接信号の強度と基準信号強度とを比較して前記近接センサの検出閾値を補正する表示装置の駆動方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の表示装置の駆動方法は、表示パネルと、表示面に接触する被検出体を検出するタッチパネルと、前記表示面に近接する前記被検出体を検出する近接センサと、を有する表示装置の駆動方法であって、接触信号が発生した時を起点として、前記被検出体の位置を前記タッチパネルによって検出し、次に前記被検出体の近接信号の強度を前記近接センサにより検出し、次に前記近接信号の強度と基準信号強度とを比較して前記近接センサの検出閾値を補正する構成である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本発明の表示装置の駆動方法は、表示パネルと、表示面に接触する被検出体を検出するタッチパネルと、表示面に近接する被検出体を検出する近接センサと、を有する表示装置の駆動方法であって、接触信号が発生した時を起点として、被検出体の位置をタッチパネルによって検出し、次に被検出体の近接信号の強度を近接センサにより検出し、次に近接

信号の強度と基準信号強度とを比較して近接センサの検出閾値を補正することから、被検出体の色、大きさ等の種々の要因に起因して被検出体を検出する近接センサの受信強度が変動しても、被検出体を確実に検出することができる。